

岐阜県 地球温暖化防止・気候変動適応計画 令和3年度報告書

令和4年7月
岐阜県環境生活部
脱炭素社会推進課

温室効果ガスの排出状況

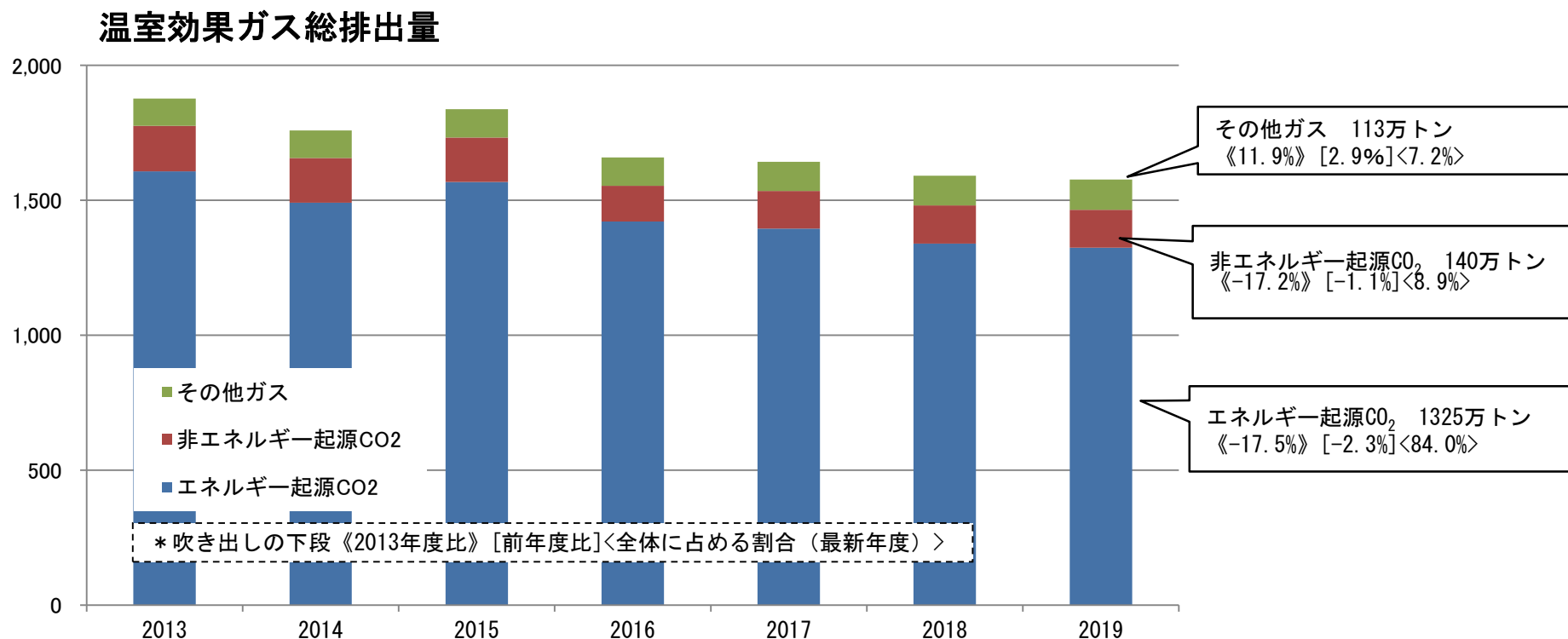
2019年度（令和元年度）岐阜県温室効果ガス排出量（速報値）

温室効果ガス総排出量

2019年度の温室効果ガス総排出量は1,577万t-CO₂（2013年度比-16.0%、前年度比-1.9%）
（森林吸収量（192万t-CO₂）を反映すると1,385万t-CO₂）

総排出量の8割以上を占めるエネルギー起源CO₂は、2013年度比、前年度比ともに減少している。

<現計画目標> **・2030目標（中期目標）：2030年度に2013年度比33%減 → 2019年度実績26.3%減**
・2050目標：2050年度に排出量を実質ゼロ



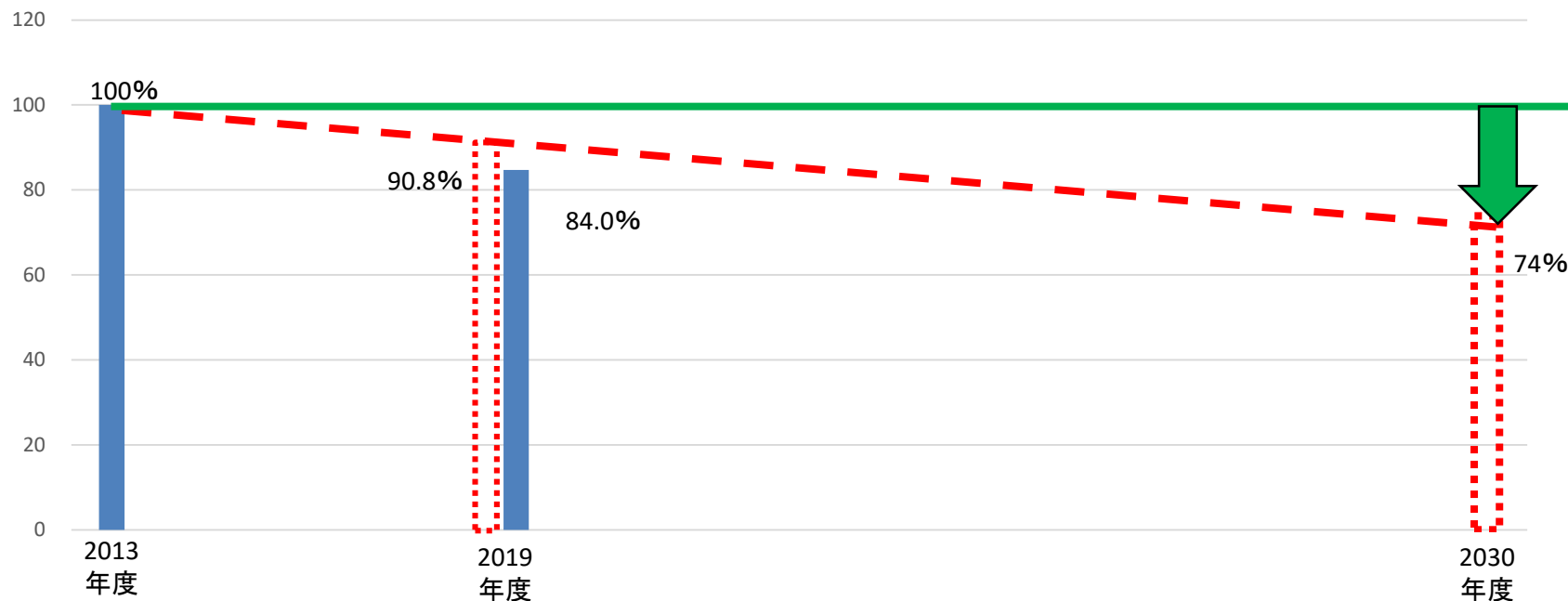
2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値) 中期目標達成状況

岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画(区域施策編)において、削減目標の達成可能性の検証をした際の総排出量の基準年度比(2013年度比)削減率(以下「2030年度見込削減率」)に対する2019年度排出量の削減状況は以下のとおり。

<目標達成状況>

2019年度総排出量の削減率は、中期目標達成のために必要な2030年度削減率(33%から森林吸収率を除いた26%)を年度ごとに按分した場合の2019年度の削減率より低く、順調に削減が進んでいる。

中期目標達成のために必要な2030年度削減率(総排出量)



※2013年度の温室効果ガス総排出量を100とした場合の2019年度、2030年度の排出量

■ 2030年度目標達成のために必要な削減率 ■ 実績

2019年度（令和元年度）岐阜県温室効果ガス排出量（速報値）

2030年度目標達成状況

岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画（区域施策編）において、削減目標の達成可能性の検証をした際の各部門の中期目標達成のために必要な2030年度削減率（2013年度比）に対する2019年度排出量の削減状況は以下のとおり。

- 産業部門：中期目標達成のために必要な2030年度削減率の達成に対して順調に削減が進んでいる。
- 業務部門：中期目標達成のために必要な2030年度削減率の達成に対して順調に削減が進んでいる。
- 家庭部門：中期目標達成のために必要な2030年度削減率の達成に対して順調に削減が進んでいる。
- 運輸部門：中期目標達成のために必要な2030年度削減率の達成に対して削減が不足している。








	2013年度 排出量 (万t-CO2)	2019年度 排出量 (万t-CO2)	2013年度比 2019年度 削減率	中期目標達成の ために必要な 2019年度削減率	(参考) 中期目標達成の ために必要な 2030年度削減率	(参考) 全国の2013年度比 2019年度削減率
産業	577	478	-17.1%	-3.7%	-10.4%	-23.3%
業務	364	272	-25.4%	-17.0%	-48.2%	-23.2%
家庭	322	258	-20.0%	-9.1%	-25.9%	-20.2%
運輸	344	317	-7.9%	-8.8%	-25.0%	-17.4%
工業プロセス	105	107	1.8%	-3.4%	-9.7%	-12.9%
廃棄物	63	33	-48.4%	-17.7%	-50.2%	4.0%
その他ガス	101	113	11.9%	-16.9%	-47.9%	16.1%
排出計 (A)	1,878	1,577	-16.0%	-9.2%	-26.1%	-18.4%
森林吸収量 (B)	-	192	-	-	-	-
合計 (A-B)	-	1,385	-26.3%	-11.8%	-33.3%	-

2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

温室効果ガス総排出量 概要

基準年度(2013年度)に対する**2019年度総合排出量(1,385万t-CO₂)**は、**2019年度の削減目標(※)**を達成している。
(※) 1,744万t-CO₂(年度ごとに按分)

部門ごとの削減状況は以下のとおり。

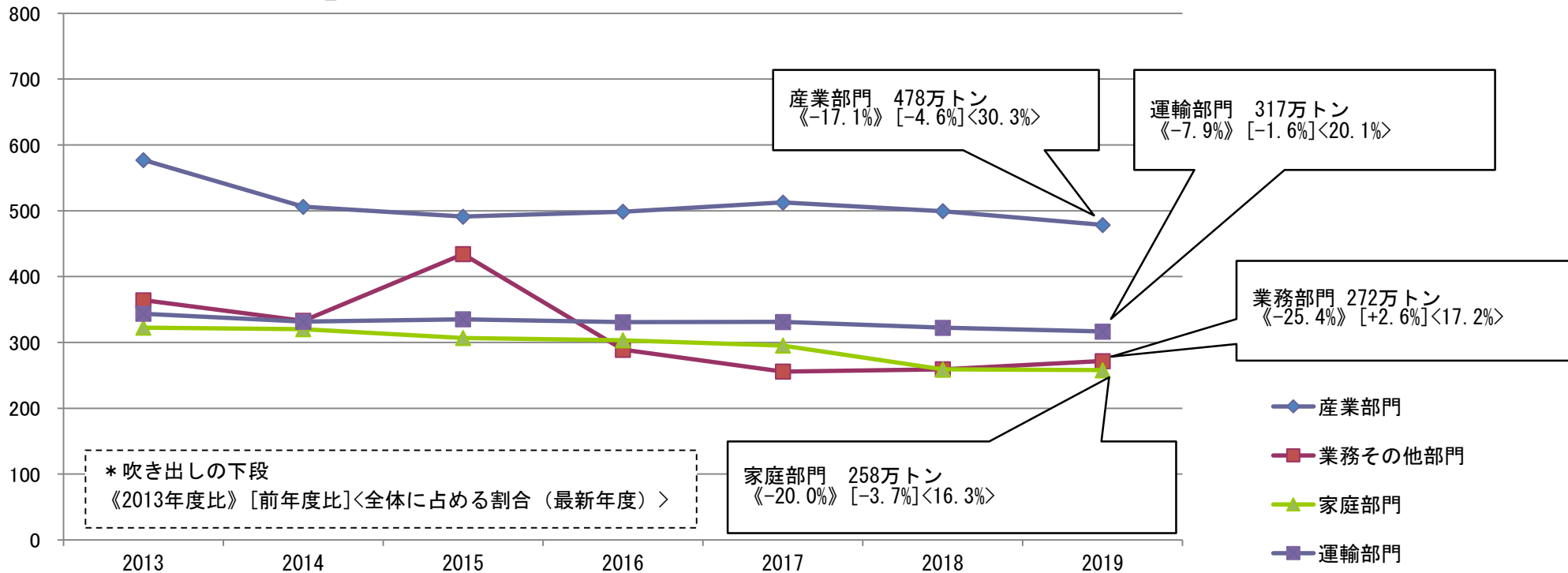
総合排出量		26.3%削減
産業部門		17.1%削減
業務その他部門		25.4%削減
家庭部門		20.0%削減
運輸部門		7.9%削減
工場プロセス部門		1.8%増加
廃棄物部門		48.4%削減
その他ガス		11.9%増加

2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値) エネルギー起源CO2排出量

エネルギー起源CO2排出量は1,325万t-CO2 (2013年度比-17.5%、前年度比-2.2%)

- 産業部門：2014年以降横ばいであり、2019年度は前年度比4.6%減となった。
- 業務部門：2017年度以降増加傾向であり、2019年度は前年度比2.6%増となった。
- 家庭部門：2013年度から減少傾向であり、2019年度は前年度比3.7%減となった。
- 運輸部門：概ね横ばい傾向が続いており、2019年度は前年度比1.6%減となった。

エネルギー起源CO₂排出量



2019年度（令和元年度）岐阜県温室効果ガス排出量（速報値）

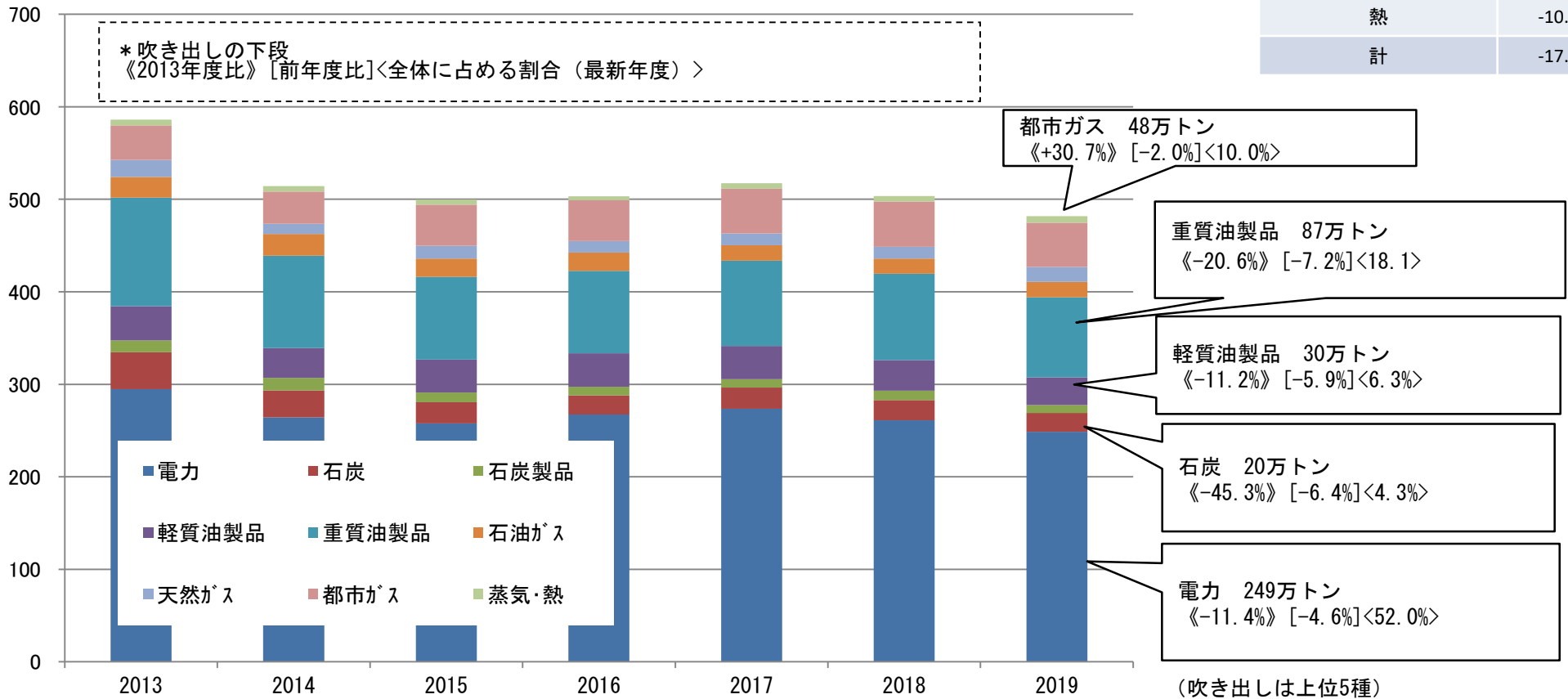
産業部門 燃料種別CO2排出量

全国の削減率	2013年度比
石炭	-11.2%
石炭製品	-11.6%
石油製品	-19.6%
天然ガス・都市ガス	-3.0%
電力	-23.5%
熱	-10.0%
計	-17.0%

産業部門CO2排出量は478万t-CO2（2013年度比-17.1%、前年度比-4.6%）

○ 電力が総量の5割以上を占めており、2013年度比、前年度比がともに減少していた。

産業部門 燃料種別CO₂排出量



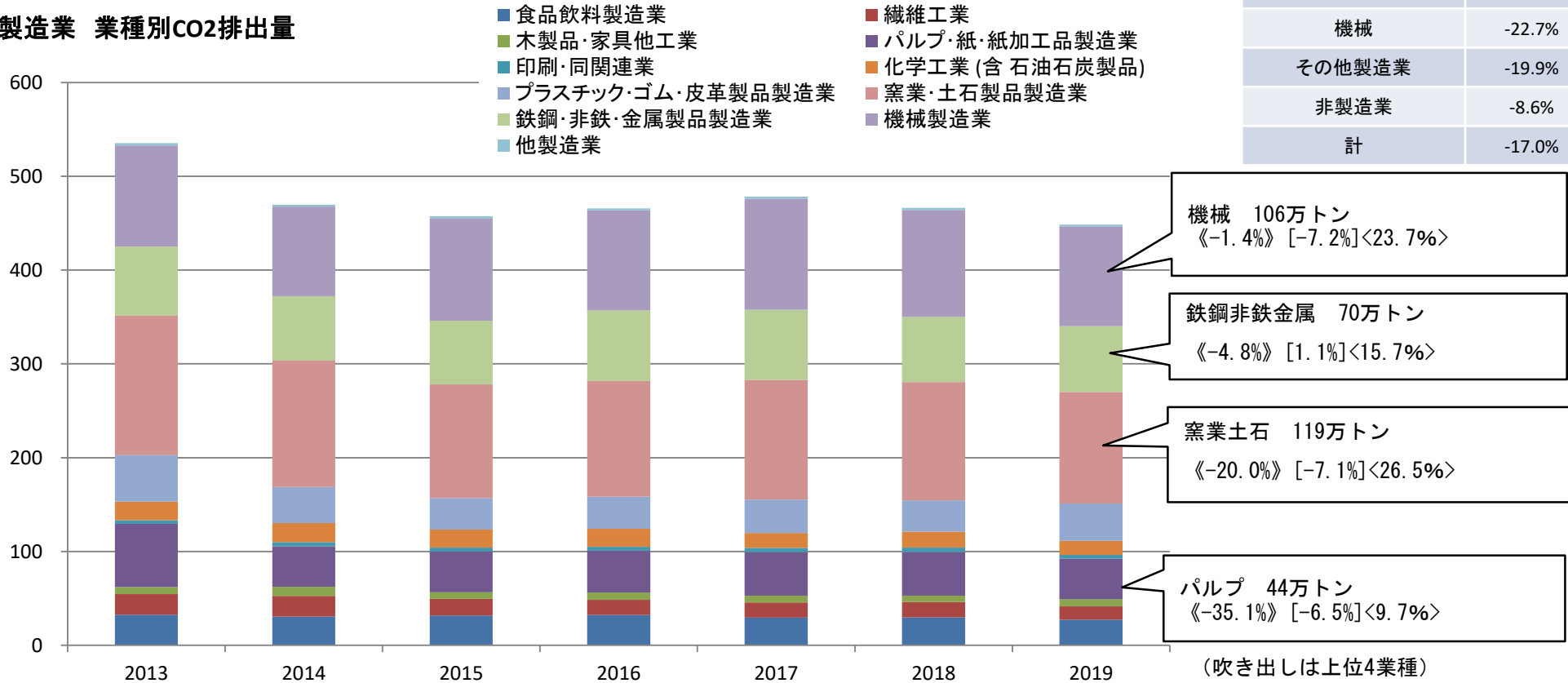
2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

産業部門 製造業 業種別CO2排出量

- 製造業においては、窯業・土石製品製造業、機械製造業、鉄鋼・非鉄・金属製品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業からの排出量が多く、製造業全体の7割以上を占める。
- 2013年度比の排出量は全体としては減少傾向。全国では特に機械製造業で減少している。

全国の削減率	2013年度比
食品飲料	-18.9%
パルプ・紙・紙加工品	-16.8%
化学工業	-17.8%
窯業・土石製品	-16.5%
鉄鋼	-15.2%
機械	-22.7%
その他製造業	-19.9%
非製造業	-8.6%
計	-17.0%

製造業 業種別CO2排出量



* 吹き出しの下段《2013年度比》[前年度比]<全体に占める割合(最新年度)>

2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

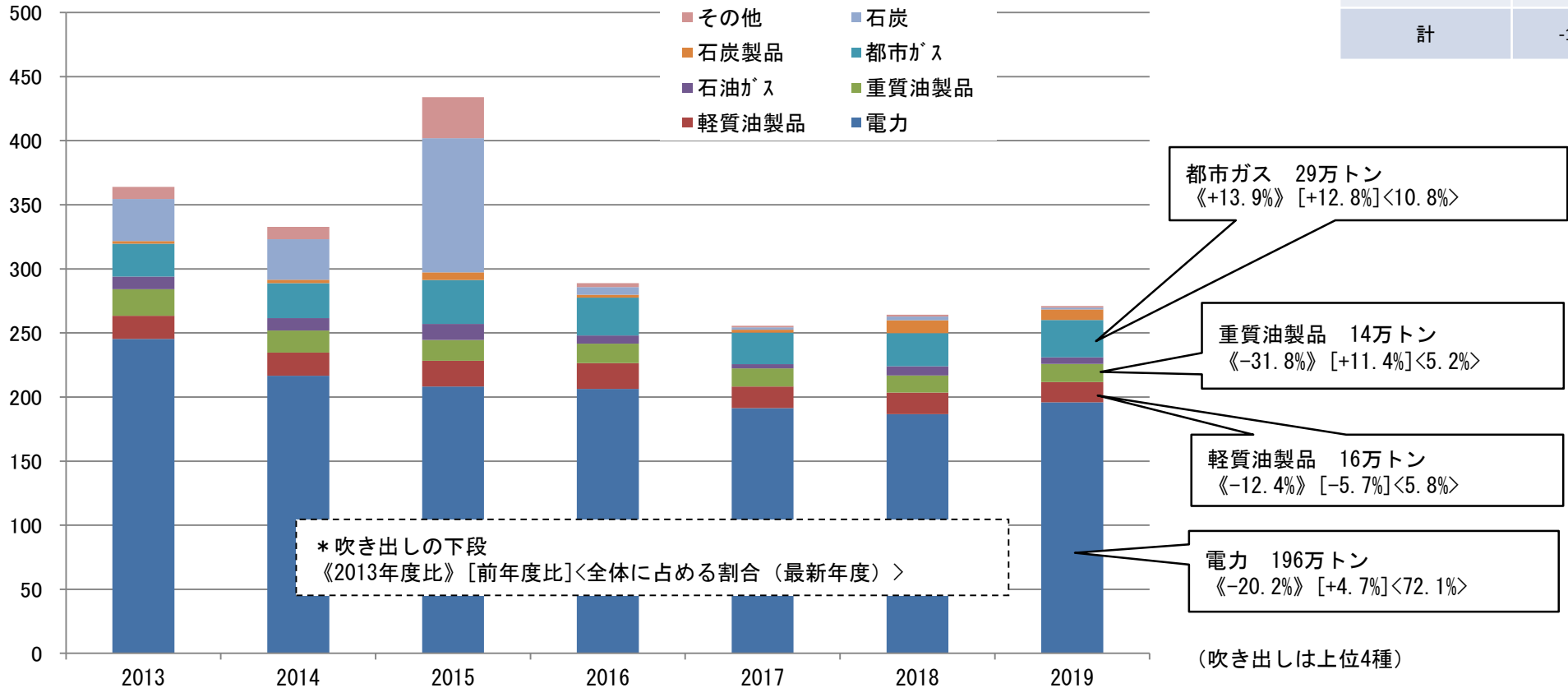
業務部門 燃料種別CO2排出量

業務部門CO2排出量は272万t-CO2 (2013年度比-25.4%、前年度比+2.6%)

- 2013年度比の排出量は減少しており、全体の7割を占める電力は2013年度比-20.2%と減少している。
- 前年度比からの増加要因は情報通信業、学術研究・専門・技術サービス業、教育・学習支援業の増加によるもの。

全国の削減率	2013年度比
灯油	-33.7%
軽油	-1.4%
重油	-28.9%
都市ガス	4.9%
電力	-20.3%
その他	-27.9%
計	-18.8%

業務部門 燃料種別CO₂排出量



2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

業務部門 業種別CO2排出量

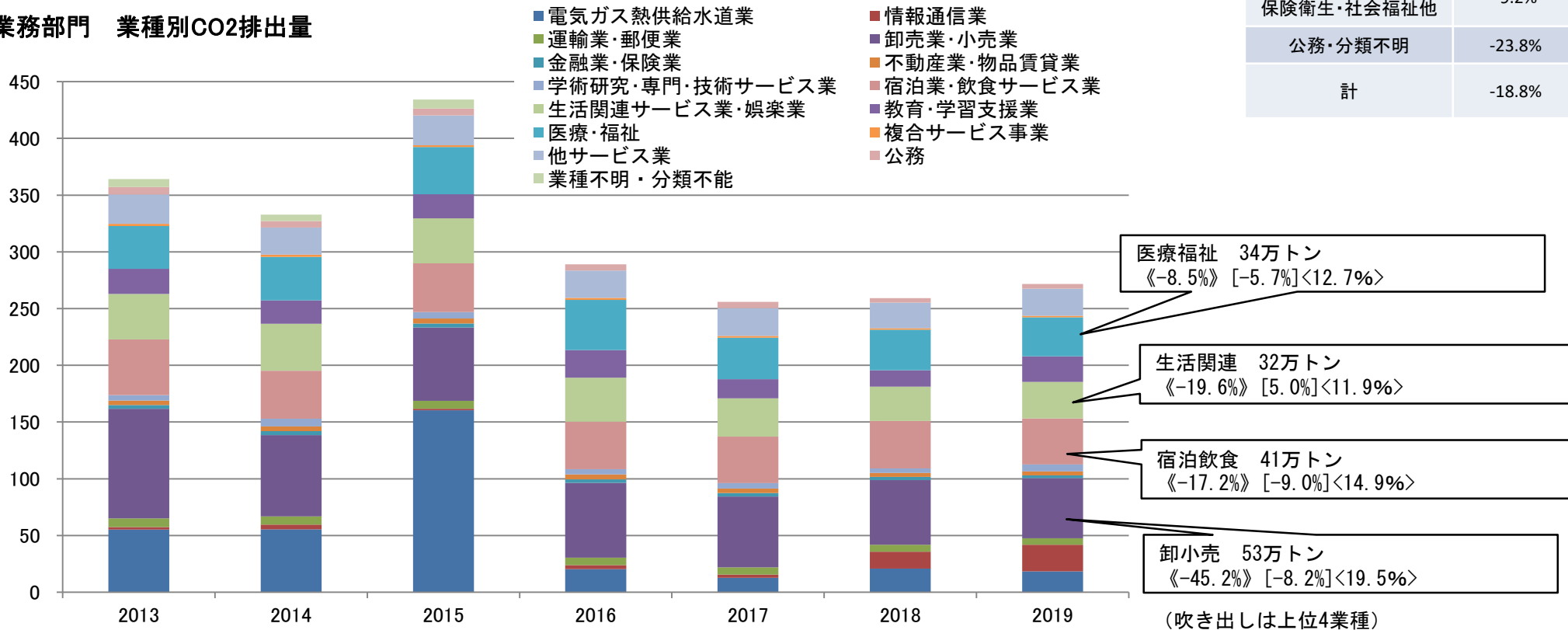
○ 業務部門は、医療・福祉、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業からの排出量が多く、部門全体の6割程度を占める。

- * 生活関連サービス業・娯楽業 (例：クリーニング、理美容、フィットネスクラブ)
- * 卸売業・小売業 (例：スーパー、コンビニ、ドラッグストア)

○ 2013年度比の排出量は4業種すべてで減少。

全国の削減率	2013年度比
情報通信・運輸郵便・電気ガス水道業	-20.2%
卸小売・金融保険・不動産業	-21.9%
宿泊飲食・専門技術・生活関連サービス業	-23.3%
教育・学習支援・医療・保険衛生・社会福祉他	-9.2%
公務・分類不明	-23.8%
計	-18.8%

業務部門 業種別CO2排出量



* 吹き出しの下段《2013年度比》[前年度比]<全体に占める割合(最新年度)>

2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

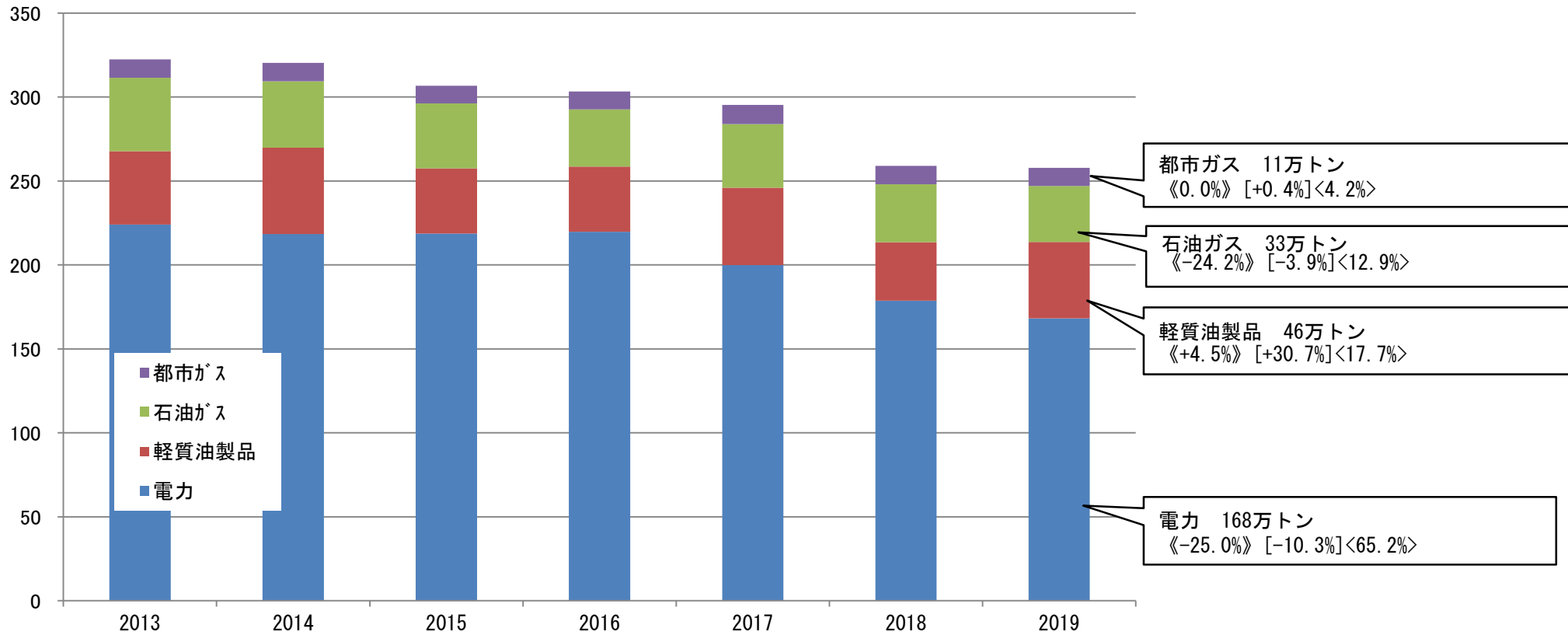
家庭部門 燃料種別CO2排出量

家庭部門CO2排出量は258万t-CO2 (2013年度比-20.0%、前年度比-3.7%)

○ 電力由来が総量の6割程度を占め、2013年度比及び前年度比とも減少している。

全国の削減率	2013年度比
都市ガス	-3.0%
電力	-28.1%
その他	-23.7%
計	-23.3%

家庭部門 燃料種別CO₂排出量



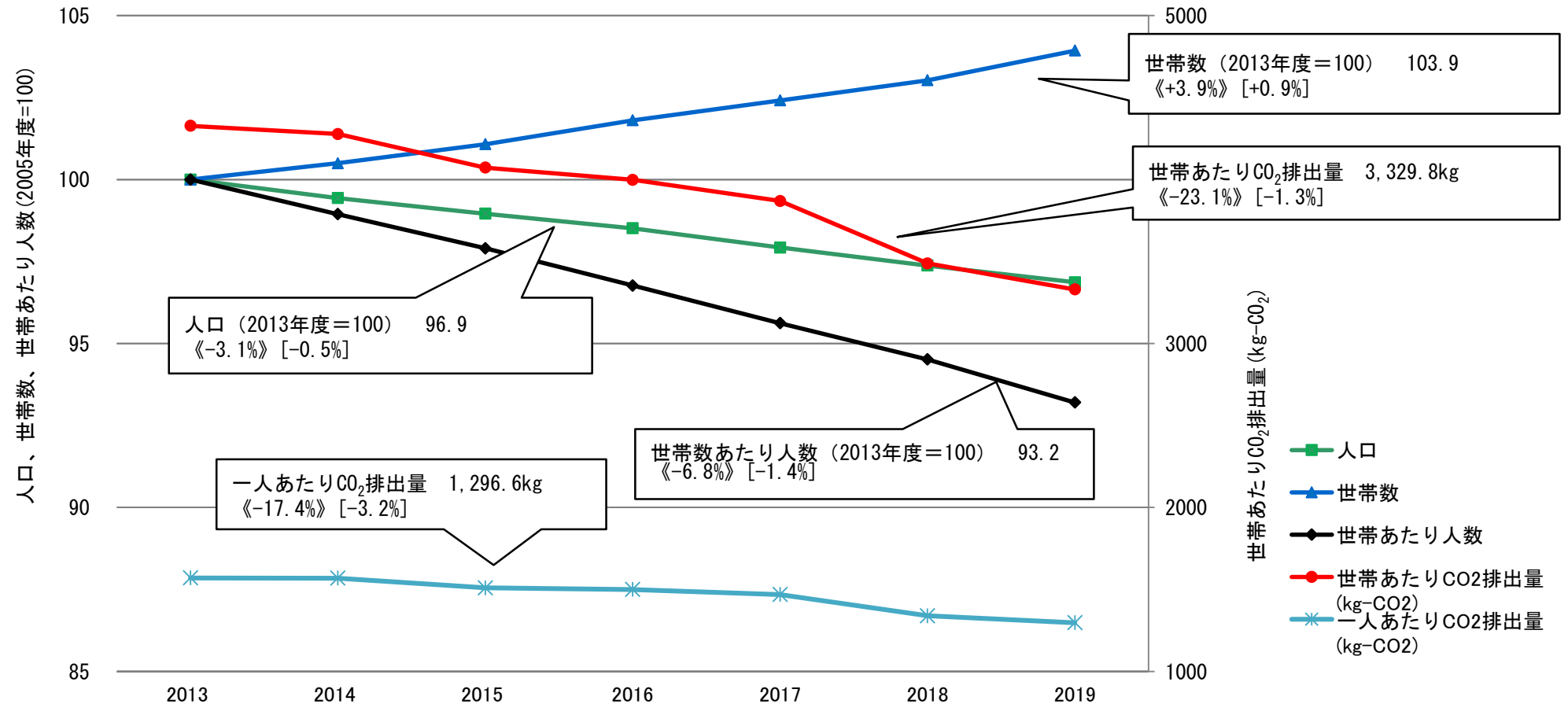
* 吹き出しの下段《2013年度比》[前年度比]<全体に占める割合(最新年度)>

2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

家庭部門 人口、世帯数との関係

○ 2013年度を基準とした場合の人口の減少、世帯数の増加、世帯あたり人数の減少傾向は変わらない。

人口、世帯数、世帯あたり人数、世帯あたりCO₂排出量



* 吹き出しの下段 《2013年度比》[前年度比]<全体に占める割合(最新年度)>

2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

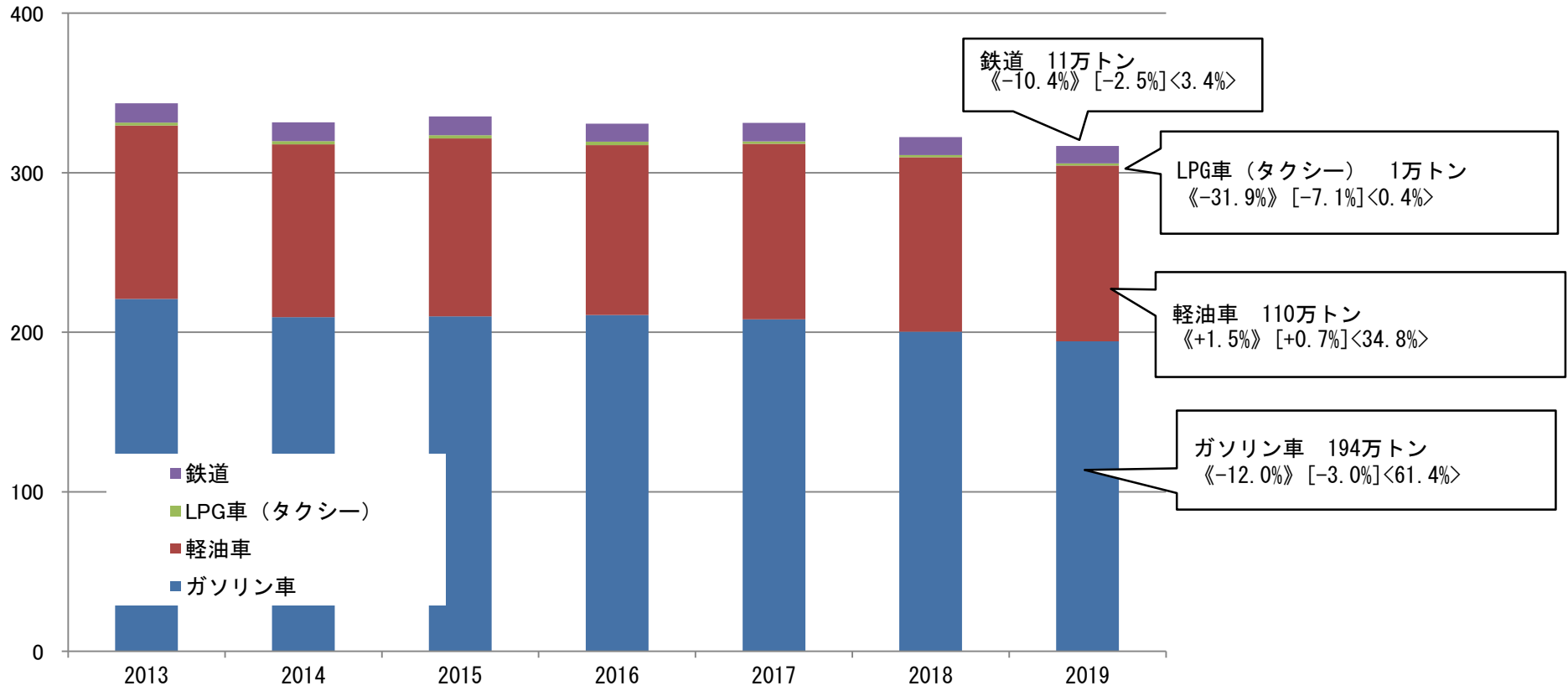
運輸部門 車種別CO2排出量

運輸部門CO2排出量は317万t-CO2 (2013年度比-7.9%、前年度比-1.6%)

○ 2013年度比の排出量は減少しており、全国の削減率と同程度である。

全国の削減率	2013年度比
マイカー	-6.1%
他旅客自動車	-16.1%
貨物車/トラック	-5.5%
鉄道・船舶・航空	-7.2%
計	-8.2%

運輸部門 車両別CO₂排出量

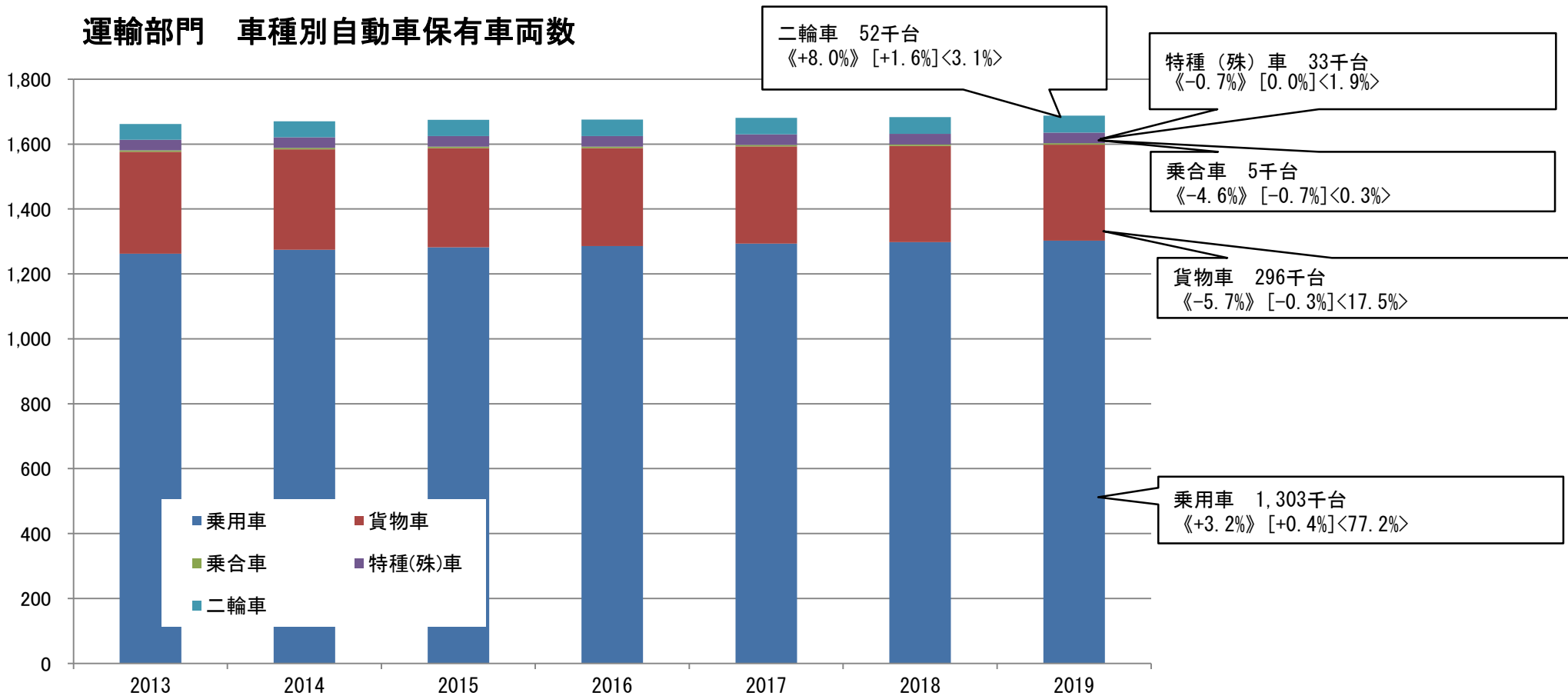


2019年度(令和元年度)岐阜県温室効果ガス排出量(速報値)

運輸部門 車種別自動車保有台数

○ 2013年度比の保有台数は乗用車で7割以上を占めており、増加している。

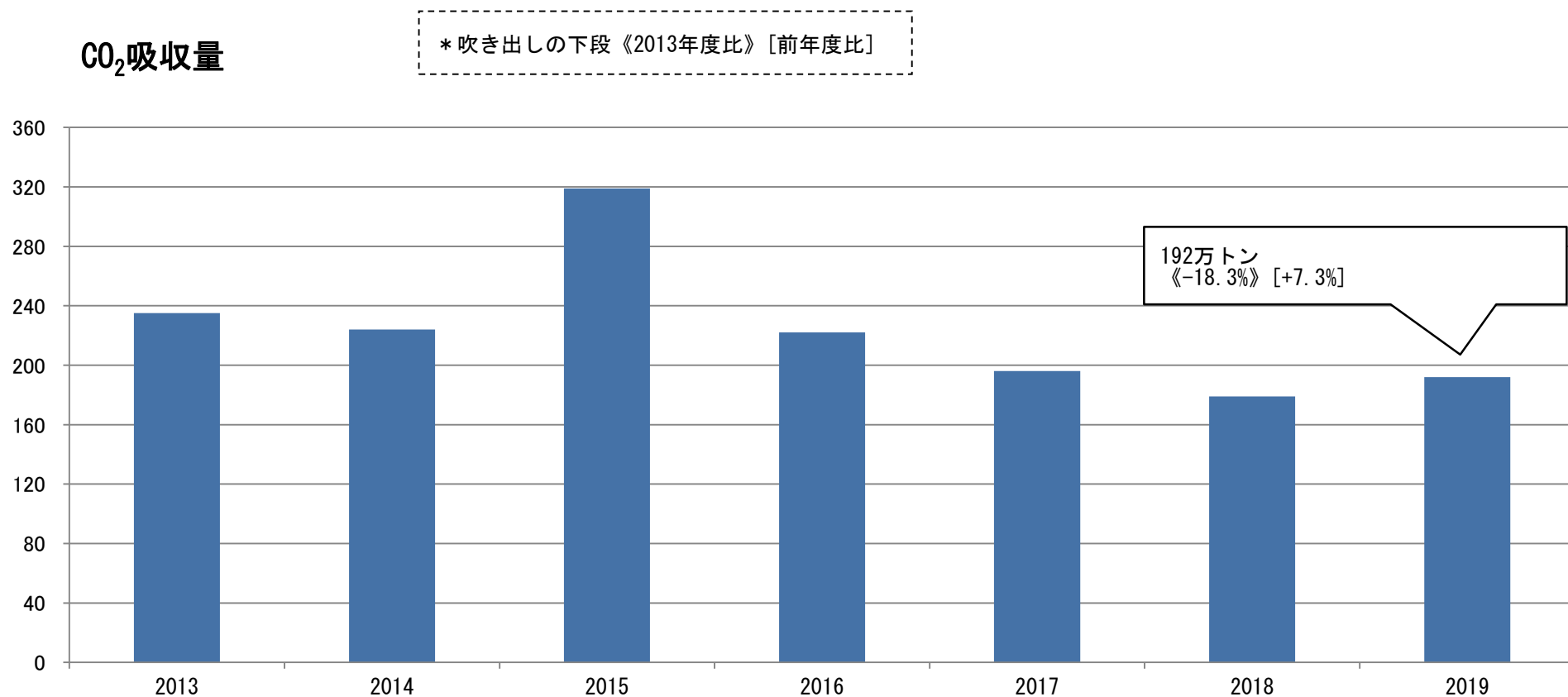
運輸部門 車種別自動車保有車両数



2019年度（令和元年度）岐阜県温室効果ガス排出量（速報値） CO2吸収量（林野庁データ）

CO2吸収量は192万t-CO2（2013年度比-18.3%、前年度比7.3%）

- 京都議定書に基づく森林吸収量
- 温室効果ガス総排出量の12.2%に相当



施策の進捗状況